

ひがしの子

令和6年3月1日
岐阜市立岐阜東幼稚園
園長 藤井 佐由美

「魅せる会～表現の会～」への参観、ありがとうございました！



2月6日（火）こあら組の子どもたちが、自分の魅力を存分に発揮してくれました。もちろん、当日の「魅せる会」では、大勢の参観者を前に、日頃の姿を十分に表し切れない姿もありました。でも安心してください。一人一人の子どもがどの子どもこの日に至るまでの過程の中で、楽しみながら取り組んでいました。特に、どんな役をやりたかについては、それぞれが考え、こだわって役を見つけしていました。そこからは、自分のお面や乗り物を好きなように、それぞれに色や形



を考えて作り上げました。自分は、どの駅から出発するのか、運転手さんが来たらどんな掛け合いをするのか、どの線路を通って進むのか、どのくらいの速さで、どんな風に動いていくのか…など、小さなこあら組の子どもなりに考えたり、覚えたりして表現することを楽しんでいました。



日頃から楽しんでいた乗り物の遊びを題材にしていること、2学期後半頃から、盛んに行っていたステージでのショーをそのまま表現していること、日頃のごっこ遊びのやり取りからお弁当を食べる場面を取り入れていることなどからも、遊びの続きとして無理なく楽しめたのではないかと思います。ときには、運転手になっている子どもがいたり、ドアを開ける役をしたり、踏切で遮断機を上げ下げする役をしたり、ピクニックでお弁当やジュースを配る役をしたりなど、好きな時に好きな役を楽しめることも、キラキラの姿を引き出すきっかけとなっていました。ショーでは、自分がやりたい曲のときに出番を決め、なり切って踊ったり歌ったりする姿が印象的でした。前日までは、人の曲にかぶせて歌って踊っていた子どもが、当日は恥ずかしくなってその姿を見せることはなかったのですが、よい経験として残ったのではないかと思います。温かい目で観てくださり、本当にありがとうございました。



験として残ったのではないかと思います。温かい目で観てくださり、本当にありがとうございました。

2月22日（木）なつめ組は、やはり昨年度の経験や年長児の劇を見て刺激を受けている様子で、気持ちだけは、「お家の人に見てほしい」という強いものがありました。気持ちと行動が一致しないのが4歳児の発達だと思います。「見せること」と「演じること」「その場の楽しさ」が混在し、調子に乗り過ぎてしまうこともあれば、緊張して表現しにくくなることもありました。また集中力が途中で切れて、動きたくなくなってしまいうこともありました。

なつめ組だって、やりたいことを考え「子ども会議」をして、どんな劇にするのかを決めてきました。「おおかみと7ひきのこやぎ」は、物語の分かりやすさはあるのですが、新しい展開が多いため4歳児にとっては少し難しい題材でもあります。でも、自分たちがこだわりたい場面を取り入れ、見事に整理して劇を構成しました。

こやぎが遊んでいることを表現するためにどうするのか、おばけの変身をどう見せるのか、子どもたちがいなくなったところでお父さんやぎとお母さんやぎはどうするのか、おおかみは声や黒い手でおおかみとバレてしまったときどうするのか、おおかみが来たときに粉屋さんはどうするのか、時計の進み具合はどうなるのか、食べられてしまったこやぎたちはどんな風におおかみのお腹からでてくるのか、おおかみが井戸に落ちたことを知ったこやぎとおばけはどんな言葉を言い表現するのかなどなど、見所満載でしたね。日頃の遊びの「なべなべ〜」も成功できるようになりました。

きっとお家でも、励まされたり、受け止められたりしながら当日を迎えていたのだらうと思います。

温かい受け止めと応援ありがとうございました。



2月16日(金)たいよう組の「魅せる会」は、感慨深いものがありました。幼稚園生活の集大成でもあるこの会は、子どもたちにとっても同様に大切にしたい会だったようです。折にふれて、「最後だから、みんながいいと思うものにしたい。」「みんなでやらないと意味ない。」という言葉が聞かれました。もちろん、大道具も衣装もこだわって自分たちで作りました。金のガチャウが出る場所はどうしようかと相談して、段ボールの箱を積み上げて仕掛けを組み込みました。衣装は、絵本を見ながら袖までつけるという忠実ぶりを見せる子どももいました。酒を飲む…いやいやワインを飲む役は、満場一致で「まめだめき」を連想し、見事に大酒飲みの役を演じてくれました。今回の衣装は両脇と耳を新しく付けていました。首や腰にまく布、エプロン、三角巾、ズボン、裾に付けたレース、リボンの飾りなど、それぞれが自分で選んで楽しんで創り上げました。できたものを着て互いに「うわ〜かわいい」「本当の服みたい」「(絵本と)そっくり」など認め合い、嬉しそうにしていました。これまでの遊びの中から、たくさんのパンやワインに見せるために半分描いた絵を鏡に映したり、合わせ鏡の技を使って多く見せたりして表しました。白雪姫がやりたかった子どもが、鏡の面白さにこだわっていたからなのです。絵本とそっくりと言えば、冒頭の場面で絵本を見ながら子どもたちが描いた絵を映し出しました。よく見て驚くほど忠実に描いていました。そしてどの子も長いセリフをよく覚えて話していました。自然な掛け合いとして話しているため、舞台俳優のように大きな声は出せませんが、精いっぱい話してくれていたと思います。きっとお家の人には届いていましたよね。ドキドキしながら「この劇を成功させたい」という子どもたちの気持ちが…

雑巾がけをしていた娘は、取り組みの経過の中で、袖まくりをして演じていました。そして、3番目の弟と会話するところでまくった袖を下ろしていたのです。細かい演出を自分で考え、「この方が本物っぽい」と思い表現していました。やっていく中で湧き上がってくるアイデアです。他にも声をそろえるところ、出番じゃなくてもスタンバイして裏方をやり切る姿、どれも一人一人の子どもが仲間と協力する活躍ぶりが見られました。

劇だけではなく、楽器も手話も歌も、できるようになったことも、子どもたちが考えて決めたことです。『できるようになったこと』とは、できなかったことができるようになったことと考える



のが一般的かもしれませんが。でも子どもたちは、『できるようになったこと＝挑戦したいこと』でもあったようです。日々挑戦する中で、友達の成果も気になりつつ、認め合ったり、喜び合ったり…そんな中で、「自分もやりたい!」という思いも生まれて、あれもこれも挑戦したくなったようです。当日、急に変更する子どももいて、本番で成功させることは結構難しく本人も歯がゆく思う中で、周りの子どもたちや保護者の方の温かい見守りがありました。そのおかげで、本人も最後まであきらめず挑戦し続けることができました。本番にはあまり



聞かれなかったことですが、取り組みの中で周りの子どもたち素敵な声の掛け合いがあったので紹介します。「〇〇ちゃんならできるよ。」「あきらめないで。」「きっとできるよ。」「さいごまでやろう。」「大丈夫だよ。」「おいしい、もうできてるよ。」などなど…正直、驚きました。大人でもこれほど豊かに言葉を使って励ましたり、応援したりすることができるのでしょうか。「頑張れ」と言いたくなるのではないかと思います。このような姿こ

そが、3年間の幼稚園生活の中で培われてきた姿なのだと思います。

たくさんの励ましや応援の眼差しを送ってくださりまして本当にありがとうございました。



《3月の保育について》

【3歳児】

- 年中児になる期待をもち、いろいろなことをやってみようとする。
- 先生や友達と一緒に、いろいろな表現遊びを楽しむ。

【4歳児】

- 友達の中で自分を伸び伸びと表現し、共に過ごす楽しさを感じる。
- 年長組になる生活を意識し、進級を楽しみにする。

【5歳児】

- 1年生になる期待と喜びをもって友達と一緒に遊んだり、共にいることを楽しんだりする。
- 自分なりの願いをもち、それを達成するために遊びや生活の中に様々な環境を取り入れ、遊びを創り出す喜びを味わう。



お知らせとお願い

◆全国国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会団体保険制度

「園児まもるくん」について

これまで岐阜東幼稚園は、全国国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会に加入し、その下部組織として、岐阜県公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会に加入しております。その下部組織として、岐阜東幼稚園PTA組織があります。

この度、岐阜県公立幼稚園・こども園長会の中で協議を重ねてきた結果、令和5年度をもって全国国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会を脱退する運びとなりました。

理由としては、保護者及び教員の負担軽減が目的です。実は、岐阜県公立幼稚園・こども園長会の組織の中で様々な役割分担をしており、岐阜東幼稚園は、私が岐阜県の副会長、東海北陸国公立幼稚園・こども園長会の大役を担っております。そのため近年では、東濃地区の方で全国国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会及び岐阜県公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会の役を担ってくださっています。その役が当たっている園の園長及びPTA会長は、全国及び岐阜県の大会に参加することが必要となり、全国大会では、令和3年度は新潟県、令和4年度は山口県、令和5年度は大分県で開催されました。いずれは、岐阜大会も開催すること等を踏まえると、他県に比べて国公立幼稚園数が少ない実情も考えて、「今までと同じようにお付き合いしていくことが難しいのではないか。」という総意により、やむを得ず脱退する運びとなったわけです。

全国国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会を脱退したことにより、「園児まもるくん」の継続が終了となりました。これまで加入されていた保護者の方には個別に保険会社の方から文書が届いていると思います。急な文書に驚かれた方もいらっしゃると思います。先にお伝えせず、申し訳ありませんでした。保険は、1年ごとの契約になるため、今後も継続したいと思われる方は、今後は個人契約に切り替えて加入することは可能とのことですので、ご検討ください。

◆虐待・性被害防止について

近年、職員による虐待や性被害などが話題となっています。子どもを真ん中におき子どもの主体性を大切にしている本園においては、あってはならないことであり、職員に対する研修等についてもしっかりと行っております。

お子様への対応について、気になることがあれば、担任だけでなく、園長をはじめとし、教頭、主任、養護教諭などお気軽にご相談ください。

また、虐待・性被害防止の対応について、幼稚園に相談しにくいことがありましたら、下記にご相談いただくことも可能です。

岐阜市教育委員会事務局 幼児教育課 Tel 058-214-7124

メールアドレス youji-kyouiku@city.gifu.gifu.jp